

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名』

睡眠時無呼吸症候群患者における CPAP 療法の通院間隔とアドヒアランスの変化

【研究の背景および目的】

CPAP 療法は閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSA)のゴールドスタンダードな治療として知られています。しかしながら、治療の効果確認目的で患者様に定期的に外来受診をしていただかねばなりません。そこで、東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科では、CPAP 療法の通院間隔とアドヒアランスの変化を評価することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、患者様の適切な通院間隔の評価、ならびに患者様満足度につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2010年4月～2017年4月までに東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科において CPAP 療法を導入された OSAS 患者様の中で1ヶ月毎受診から2ヶ月毎受診に切り替えた症例(160例)を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した CPAP データとともに解析することにより、通院間隔がアドヒアランスに与える影響を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

呼吸器内科

職位・氏名 准教授・高井雄二郎

電話 03-3762-4151 内線 6555